



留寿都村 高田守さんに

インタビューさせていただきました！



敬老の日にちなみ、「輝く高齢者特集」として  
今回は留寿都村 高田守さん取材させていただきました！



留寿都村 高田守さん



取材のご協力、ありがとうございました！

留寿都村の高田守さんは、83歳になった今でも元気に農作業をする輝く高齢者の一人です。高齢化が進む農家さんの中でも非常にお元気で、周囲の方々から「まもちゃん」の愛称で親しまれている村の人気者です。

元気の秘訣を「適当に仕事すること」と笑顔で話す高田さん。昭和13年に留寿都村で生まれ、実家が農業を営んでいたことから中学校を卒業した昭和28年に就農されました。平成10年、60歳を迎えたことを機に息子の勝さんに経営移譲されましたが、その後も農業から離れることなく植付け・収穫作業を手伝っています。今年の春先にはGPSトラクターで畑を起し、現役の農家さん顔負けの仕事をこなします。

就農してから68年目になる今年も農作業を続ける

理由は「農地を守るためです。農家は大体3代で終わるといわれている中、今の息子が3代目になります。途切れてしまった農地は、見る影もなく雑草が生い茂っています。そんな農地跡を見て、自分の農地は守っていきたくと思うので、今でもこうして農作業を手伝い、自分が受け継いだ農地を守っています。」と話す高田さん。約10年前には孫の聖也さんが就農し、3代で途切れないことをとても嬉しく思っていると教えてくださいました。

今後も変わらず農作業を行い、4代目、5代目と自分の守ってきた農地を受け継いでほしいと話されました。取材当日は、来年の春に収穫を迎える長いもの圃場整備を行っていました。

【担当：高橋（洸）】